

笑顔あふれる街づくりを実現します!

# みのり通信

2020年  
4月号



〒005-0006札幌市南区澄川6条4丁目2-1 澄川ビル2F TEL : 011-813-7733 FAX : 011-813-7778



ご あ い さ つ



後援会の皆さまと2月に予定していた定山渓ビューホテルでの“温泉・グルメを楽しむ会”の中止を決めたころには、ここまで新型コロナウイルスの影響が続くとは考えていました。

北海道では全国でも早いうちに独自の「緊急事態宣言」が出され、それも落ち着いたか、という所で道内での発生状況が2ケタになる日が続き、第2波とも言える感染拡大の危機を早めに収束させるために、先日「北海道・札幌市緊急共同宣言」が出され、さらに政府によって全国的に緊急事態宣言となりました。感染拡大を早く収束させるためには必要なことであると思います。

ウイルスは目に見えないものであり、なかなか危機感を身近なものととらえられないかも知れませんが、新型コロナウイルスの特徴として、際立った症状がない無症状の感染者がいるということです。それにより感染が広がって、医療の現場が崩壊することを避けるためには、私たちひとり一人の行動が大切であり、後々大きな意味を持つものと感じます。人混みを避け、スーパーのレジなどでも人ととの距離を取りましょう。

道議会の第1回定例会も、新型コロナの影響で大幅に日程を変更して、3月25日に終わりました。私は一般質問に登壇する予定でしたが、それも中止となってしまいました。今回は鈴木知事が初めて編成する令和2年度の予算審議であり、今後10年先の方向性が示された割には、これまでの高橋道政との政策の違いが見えにくく、会派として組み替えることを提議しましたが、否決されました。

北海道議会議員 畠山みのり



定例会初日。マスクをつけての本会議

## 畠山みのり活動日誌

(2020年1月から4月まで)

|    |       |                   |
|----|-------|-------------------|
| 1月 | 1月4日  | ライオンズクラブ新年交礼会     |
|    | 1月5日  | ふるさと藤野新年交礼会       |
|    | 1月6日  | 連合(05)の日 新春街宣     |
|    |       | 文教委員会             |
|    |       | 北海道林業人新年交流会       |
|    |       | 連合北海道新年交礼会        |
|    |       | 文教委員会懇親会          |
|    |       | 少子・高齢社会対策特別委員会    |
|    | 1月8日  | 北海道議会がん対策議連設立準備会  |
|    |       | 札幌大学生との意見交換会      |
|    | 1月10日 | 真駒内駐屯地成人祝賀会       |
|    |       | 石山地区新年交礼会         |
|    |       | 情報労連北海道協議会新年交礼会   |
| 2月 |       | 藻岩地区町内会新年交礼会      |
|    |       | 藻岩地区連合会役員新年交礼会    |
|    |       | 簾舞地区町内会連合会新年交礼会   |
|    |       | 澄川地区新年交礼会         |
|    |       | 芸術の森地区連合会新年交礼会    |
|    | 1月12日 | 常磐一区町内会新年交礼会      |
|    |       | 成人の日街宣            |
|    |       | 南区成人式             |
|    |       | 澄川商工会新年会          |
|    | 1月13日 | 澄川第四町内会新春の集い      |
|    |       | 澄川第九町内会新年交礼会      |
|    |       | 南沢地区新年交礼会         |
|    |       | 札幌市南消防団定山渓分団新年祝賀会 |
| 3月 | 1月14日 | 会派道外調査(17日まで)     |
|    | 1月18日 | 真駒内地区連合会新年交礼会     |
|    |       | 澄川第一町内会新年交礼会      |
|    | 1月20日 | 南区地域政策研究会         |
|    | 1月21日 | 藤野中央商工振興会新年会      |
|    | 1月23日 | 定山渓連合町内会役員新年会     |
|    | 1月24日 | 行政書士新年賀詞交歓会       |
|    |       | 藻岩南商店街振興組合新年交礼会   |
|    | 1月26日 | 道下衆議員議員と立憲南区街宣    |
|    |       | 真駒内本町新年会          |
|    | 1月27日 | ワクチントーク保健福祉部要請    |
|    |       | 石狩湾新港管理組合議案説明会    |
|    | 1月28日 | 文教委員会道外調査(31日まで)  |
| 4月 | 1月31日 | 南区商店街連絡協議会研修会     |
|    | 4月7日  | 文教委員会             |
|    | 4月8日  | 【中止】民主・議員ネット役員会   |
|    |       | 少子・高齢社会対策特別委員会    |
|    | 4月18日 | 【中止】澄川第九町内会定期総会   |
|    | 4月28日 | 【予定】臨時会           |

ポスター・看板を設置していただける方募集中!

笑顔あふれる  
街づくりを実現します。

お気軽に畠山みのり事務所へ  
〒005-0006札幌市南区澄川6条4丁目2-1澄川ビル2F  
TEL : 011-813-7733 FAX : 011-813-7778



## 写真で見る畠山みのりの活動



## 令和二年 第1回定例道議会

第1回定例道議会(2020年2月27日開会～3月25日閉会)は、2020年度一般会計予算案、「ウポポイ開設を契機とする共生社会の実現に関する決議」などを可決しました。

会派の代表質問では、新型コロナウイルス感染症対策、キタデミー賞問題及び用地取得業務における公金不適切事務処理、幌延深地層研究計画、人権政策、給特法改正及びGIGAスクール構想(1人1台パソコン環境)などについて質しました。

**主な審議経過について**

まず、2019年度一般会計補正予算の審議を行い、最終補正予算については、一部減額となつた一方で、自然公園等施設整備事業費などを追加しました。最終日には、2019年度及び2020年度一般会計予算案を可決しました。

16年ぶりの新しい知事が組んだ予算の割には、これまで道が取り組んできた事業の多くを踏襲しており、希望が持てる内容とはなっていません。

**イベントにかかる金銭問題**

高橋知事時代の2018年2月5日に行なわれた北海道命名150年を記念して開かれた「キタデミー賞」には、契約書がなかつたため、道は制作会社への支払について民事調停を申し立てられ、議会議論を通じて信じがたい問題が浮き彫りになりました。

道は「道の事務適正化に向けた改善策」を示しましたが、不適切な事務処理がなされた経緯の説明は不十分です。公金の取扱いは、厳格さが求められるのは言つまでもありません。会派では引き続き、前知事を含めた道幹部の責任のあり方や問題点の解説を行なつていきます。

**子ども・子育て支援について**

子どもの生活実態の現状を把握し、子どもの貧困対策を実効性のあるものにすること。また比較的低所得者が多いひとり親家庭の課題を把握・整理し、適切な支援メニューにつなげるため、母子・父子自立支援員を中心としたアウトリーチ型の相談支援体制や児童相談窓口の整備に向けた支援を行なうこと。

**教育機会の確保について**

障がいのある子どもや、異なる文化や言語を背景とした子どもなどが、普通学級に在籍して教育を受けられるインクルーシブ教育を推進すること。

**新型コロナウィルス感染症に関する相談窓口**

- 中小企業者に関して—経営環境変化対応貸付【認定企業】  
地域経済局中小企業課 ☎ 011-204-5346
- 労働者向け労働関係に関して—労働相談ホットライン  
労働政策局雇用労政課 ☎ 0120-81-6105
- 解雇・休業に関して—北海道労働局特別労働相談  
北海道労働局 ☎ 011-707-2700
- 世帯主向け緊急小口資金—生活福祉資金貸付制度  
北海道社会福祉協議会 ☎ 011-241-3976(代)

**経済対策について**

新型コロナウィルス感染症対策として、今定例会では今年度補正予算と来年度予算が組まれ、次回臨時会で補正予算案が提出される予定です。



**文教委員会道外視察**

(1月28日～31日)

徳島県板野町にある板野支援学校を訪問しました。昭和37年に肢体不自由養護学校として設立されたこの学校の特色は小・中・高一貫した教育、個々の能力に応じた学習内容充実した自立活動、車椅子のまま乗降できるスクールバス、寄宿舎などがあることです。すべての学部に病弱学級を置き、知的障害部門を設置し、より児童生徒の一人づきに合わせた教育を行なうことができるようになりました。

最終日は大分県別府市立東山幼稚・小・中学校の取組みの視察でした。3歳児から中学校卒業の15歳まで地域も関わって、心身のすこやかな成長を図り体力づくりをめざすとともに、自然に触れる中で豊かな人間性を培うなどの一貫した教育を受けられる小規模特任校です。開放型の学校として学年を超えた共同の中で幼稚園から中学校までの12年間の連携教育を行なっています。各学校とも、それぞれの教育方針を明確に打ち出し、なによりも地域とともに子ども達を育てる印象的でした。